

課題名	34 特産果樹の生産安定と商品性向上技術の確立		分類	②																														
	(4) オウトウの整枝と雨よけ栽培による生産安定																																	
試験研究年次	60～2年(完了)																																	
I 目的 暖地におけるオウトウ栽培は、花芽形成が悪いので、結実が安定する整枝法を確立するとともに雨よけ栽培により生産の安定を図る。																																		
II 試験方法																																		
試験1 整枝法(場内試験)																																		
(1) 供試材料 穂木品種:佐藤錦、高砂 台木:青葉桜、コルト																																		
(2) 試験区の構成 整枝法:開心形2本主枝、開心形3本主枝、開心自然形 試験規模:各区3本供試																																		
(3) 試験処理方法 植え付け:61年3月定植、栽植距離:7m×7m 栽培法:慣行法、収穫直前にビニル被覆による雨よけを実施																																		
(4) 調査方法 樹冠容積 = { (樹幅) <sup>2</sup> × 0.785 × 樹高 } × 0.7																																		
試験2 被覆栽培(場内試験)																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>品 種</th> <th>処理法</th> <th>整枝法</th> <th>台 木</th> <th>植え付け</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>シナミザクラ</td> <td>雨よけ</td> <td>開心形3本主枝</td> <td>青葉桜</td> <td>60年</td> </tr> <tr> <td>シナミザクラ</td> <td>露地</td> <td>開心形3本主枝</td> <td>青葉桜</td> <td>60年</td> </tr> <tr> <td>高砂</td> <td>雨よけ</td> <td>開心形3本主枝</td> <td>青葉桜</td> <td>60年</td> </tr> <tr> <td>佐藤錦</td> <td>雨よけ</td> <td>開心形3本主枝</td> <td>青葉桜</td> <td>60年</td> </tr> <tr> <td>佐藤錦</td> <td>露地</td> <td>開心形3本主枝</td> <td>青葉桜</td> <td>60年</td> </tr> </tbody> </table>					品 種	処理法	整枝法	台 木	植え付け	シナミザクラ	雨よけ	開心形3本主枝	青葉桜	60年	シナミザクラ	露地	開心形3本主枝	青葉桜	60年	高砂	雨よけ	開心形3本主枝	青葉桜	60年	佐藤錦	雨よけ	開心形3本主枝	青葉桜	60年	佐藤錦	露地	開心形3本主枝	青葉桜	60年
品 種	処理法	整枝法	台 木	植え付け																														
シナミザクラ	雨よけ	開心形3本主枝	青葉桜	60年																														
シナミザクラ	露地	開心形3本主枝	青葉桜	60年																														
高砂	雨よけ	開心形3本主枝	青葉桜	60年																														
佐藤錦	雨よけ	開心形3本主枝	青葉桜	60年																														
佐藤錦	露地	開心形3本主枝	青葉桜	60年																														
III 主要成果の概要																																		
暖地におけるオウトウの結実安定には、開心自然形で、しかも放任に近い軽いせん定で、樹勢を早く落ち着かせる整枝せん定法が良い。																																		
また、オウトウの裂果防止には、成熟期直前に雨よけをすることで大きな効果がある。																																		
1 収量は、開心自然形の放任に近い軽いせん定方法で多く、主枝数を少なくして強せん定にする整枝では収量が低くなる。																																		
2 コルト台は、樹冠容積からみると、わい化効果は認められない。																																		
3 果実の品質面では、軽いせん定で着色はやや劣るが、一果重や糖度及び酸度については整枝法及び台木の影響はない。																																		
4 東亜系のシナミザクラは豊産性で果皮は鮮紅色で優れるが、果実は3g前後で小さく、糖・酸ともやや低い。露地では30%以上が裂果する。																																		
5 佐藤錦は大果で糖度も高く、雨よけ栽培により裂果率は10%以下となる。しかし、高砂及び佐藤錦は、いずれも収量が低いので経済栽培は難しい。																																		

IV 主要成果の具体的データ

第1表 樹冠の拡大と着果状況

(63~2年平均)

品種	台木	整枝法	樹冠容積		1樹当たり果樹収量		1果重	果実着色面積	糖度
			63年	2年	収獲果数	収量			
			m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	個	kg	g	%	%
佐藤錦	青葉桜	2本	5	25	103	0.7	6.8	80	16.3
		3本	7	30	130	0.8	6.8	75	16.5
		放任	12	38	256	1.6	6.3	70	16.1
高砂	青葉桜	2本	5	26	120	0.7	6.8	75	17.0
		3本	7	31	141	0.9	6.7	75	16.3
		放任	13	40	289	1.9	6.8	71	16.7
高砂	青葉桜	2本	8	31	81	0.3	3.5	60	12.5
		3本	8	36	85	0.3	3.3	55	13.6
		放任	14	44	120	0.4	3.7	50	13.5
高砂	コルト	2本	8	32	86	0.3	3.3	56	13.3
		3本	9	39	94	0.3	3.4	58	12.5
		放任	14	45	153	0.6	3.4	54	13.0

第2表 栽培法の違いによる生育及び品質

(63~2年平均)

品種及び 処理法	展葉期	満開期	収穫盛期	一果重	糖度	酸度	裂果率	果皮色	1樹収量		
									2年	累計	
	月.日	月.日	月.日	g	%	%	%		Kg	Kg	
シナミザカラ	雨よけ	4.6	3.15	5.20	2.4	17.2	0.58	13	鮮紅	2.2	3.0
	露地	4.6	3.15	5.20	2.3	16.3	0.57	37	鮮紅	1.7	2.4
高砂	雨よけ	4.10	4.22	6.6	3.6	17.5	0.71	8	紅	0.6	1.1
	雨よけ	3.30	4.25	6.6	6.7	16.1	0.78	27	紅	0.5	1.1
	露地	3.30	4.25	6.6	6.6	16.0	0.76	41	紅	0.2	0.6

V 成果の評価と取扱上の留意点

暖地において、オウトウを導入する場合の参考資料となる。

VI 今後の研究上の問題点

暖地における効果的なわい性台木の探索及び育成

VII 資料名

60~2年度 福岡県農業総合試験場豊前分場果樹研究室成績書